

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス

コード番号 6961 URL <http://www.enplas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 笹倉 邦保

TEL 048-253-3131

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	13,001	△25.9	85	—	111	—	△182	—
21年3月期第3四半期	17,541	—	△740	—	△594	—	△4,083	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△11.85	—
21年3月期第3四半期	△243.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	31,132	27,827	88.6	1,800.87
21年3月期	32,500	28,521	87.2	1,832.50

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 27,593百万円 21年3月期 28,335百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△18.3	200	—	400	—	100	—	6.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	20,906,097株	21年3月期	20,906,097株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	5,583,818株	21年3月期	5,443,335株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	15,392,523株	21年3月期第3四半期	16,774,905株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、作成時点においての経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想数字と異なる結果になる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績の分析

当第3四半期(3か月)における世界経済情勢は、一昨年秋からの景気減速の影響が残っているものの、各国のさまざまな景気刺激策や中国の内需拡大などにより市場環境は緩やかに回復の兆しを見せ始めております。しかし、依然として先行きは不透明な状態であり、予断を許さない状況であります。

当社グループが関連する電子部品業界におきましても、在庫調整や減産が一段落し、その効果などが支えとなり市場が緩やかに上昇基調を辿りましたが、円高リスクや設備投資を抑制するなど不透明な経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは基幹事業であるエンブラ事業のグローバル展開の拡大と半導体機器事業の再構築、LED関連事業における新製品の拡大、そしてオプト事業の海外生産移管等による製造原価低減等による早期収益力回復を目指して事業推進してまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は4,978百万円(前年同期4,897百万円)となりました。収益面におきましては、生産効率の向上で売上原価率の低減が図られ、また、固定費の大幅な減少も寄与して、営業利益は409百万円(前年同期445百万円の営業損失)、経常利益は439百万円(前年同期は487百万円の経常損失)、四半期純利益は258百万円(前年同期は2,988百万円の四半期純損失)と黒字化することができました。

各事業の概況は次のとおりであります。

「エンブラ事業」

グローバル営業体制強化による既存顧客への拡販、新規ビジネスの獲得を積極的に推進してまいりました。本格回復には至らないながらも、主力製品であるOA機器の一部と自動車関連製品等の売上回復もあり、当第3四半期の連結売上高は3,094百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

「半導体機器事業」

戦略開発製品の積極的な上市、グローバル営業体制の強化と技術差別化によるシェア拡大を推進してまいりました。グローバル競争の激化による販売価格の下落など厳しい状況はあるものの、半導体市場に緩やかな回復の兆しがみえ始めておりますが、当第3四半期の連結売上高は923百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

「LED関連事業」

固有技術である光束技術を駆使した高効率、高品位の拡散レンズの市場開拓を積極的に推進してまいりました。既存製品であるノートPC用導光板は受注が大幅に減少したものの、新製品で売り上げを伸ばし、当第3四半期の連結売上高は246百万円(前年同期比175.0%増)となりました。

「オプト事業」

主力工場をEnplas(Vietnam)Co.,Ltd.に移管し、生産体制の強化と営業体制拡充による戦略顧客への積極的な販売活動を行っておりますが、一部顧客の需要回復が見受けられるものの完全な市場の回復には至らず、当第3四半期の連結売上高は713百万円(前年同期比10.6%減)となりました。

なお、平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信(平成21年7月29日開示)及び平成22年第2四半期決算短信(平成21年10月28日開示)をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,367百万円の減少となり、31,132百万円となりました。流動資産は1,203百万円、有形固定資産は499百万円減少し、無形固定資産は主にソフトウェアへの投資により428百万円増加しました。

負債においては、前連結会計年度末に比べ674百万円の減少となり、3,304百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、693百万円の減少となり、27,827百万円となりました。主な増減としては、利益剰余金353百万円の減少、自己株式240百万円の増加がありました。自己株式は140,483株取得したことによるものです。また、当期の第2四半期連結会計期間におけるストックオプションの発行に伴い、新株予約権が48百万円計上されております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月28日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 原価差異の配賦方法

予定価額等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

3 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

4 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法等により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,924,928	14,069,708
受取手形及び売掛金	5,492,138	4,170,240
有価証券	400,000	700,000
製品	467,520	603,505
仕掛品	216,900	196,297
原材料及び貯蔵品	396,134	399,150
その他	1,078,914	1,036,183
貸倒引当金	△13,686	△8,965
流動資産合計	19,962,850	21,166,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,886,375	4,073,663
土地	3,170,124	3,177,735
その他（純額）	1,969,027	2,274,080
有形固定資産合計	9,025,527	9,525,479
無形固定資産		
のれん	1,332	3,925
その他	802,574	371,585
無形固定資産合計	803,906	375,510
投資その他の資産	1,340,618	1,433,359
固定資産合計	11,170,052	11,334,350
資産合計	31,132,903	32,500,470
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,087,608	572,131
未払法人税等	97,337	108,711
賞与引当金	150,339	392,303
工場閉鎖損失引当金	757,000	757,000
その他	881,116	1,759,099
流動負債合計	2,973,401	3,589,246
固定負債		
退職給付引当金	66,801	54,361
役員退職慰労引当金	27,999	26,075
その他	236,781	309,377
固定負債合計	331,582	389,815
負債合計	3,304,983	3,979,061

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,975,889	10,975,889
利益剰余金	17,707,229	18,060,436
自己株式	△7,919,082	△7,678,364
株主資本合計	28,844,491	29,438,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,146	104,000
為替換算調整勘定	△1,361,205	△1,206,981
評価・換算差額等合計	△1,251,058	△1,102,980
新株予約権	48,238	—
少数株主持分	186,248	185,973
純資産合計	27,827,919	28,521,408
負債純資産合計	31,132,903	32,500,470

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,541,468	13,001,071
売上原価	12,942,271	8,788,726
売上総利益	4,599,197	4,212,344
販売費及び一般管理費	5,339,387	4,127,289
営業利益又は営業損失(△)	△740,190	85,055
営業外収益		
受取利息	110,624	52,550
その他	75,688	63,608
営業外収益合計	186,312	116,158
営業外費用		
為替差損	18,652	83,399
固定資産賃貸費用	11,142	—
その他	10,563	5,955
営業外費用合計	40,358	89,354
経常利益又は経常損失(△)	△594,236	111,859
特別利益		
前期損益修正益	—	37,582
固定資産売却益	18,350	32,120
会員権売却益	—	30,301
その他	32,038	27,724
特別利益合計	50,389	127,729
特別損失		
固定資産除却損	—	28,623
減損損失	1,390,246	43,476
事業再構築費用	—	32,997
工場閉鎖損失引当金繰入額	757,000	—
その他	836,680	33,095
特別損失合計	2,983,926	138,193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,527,773	101,396
法人税、住民税及び事業税	284,481	206,018
法人税等調整額	272,348	63,090
法人税等合計	556,830	269,109
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,333	14,725
四半期純損失(△)	△4,083,269	△182,438

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,897,812	4,978,700
売上原価	3,723,125	3,176,761
売上総利益	1,174,686	1,801,938
販売費及び一般管理費	1,620,333	1,392,423
営業利益又は営業損失(△)	△445,647	409,514
営業外収益		
受取利息	35,105	12,545
その他	24,513	18,005
営業外収益合計	59,619	30,550
営業外費用		
為替差損	94,730	22
固定資産賃貸費用	3,846	—
その他	2,701	727
営業外費用合計	101,277	750
経常利益又は経常損失(△)	△487,305	439,314
特別利益		
前期損益修正益	—	21,194
固定資産売却益	12,688	16,599
投資有価証券売却益	3,615	—
その他	9	505
特別利益合計	16,313	38,299
特別損失		
減損損失	1,315,500	31,567
工場閉鎖損失引当金繰入額	757,000	—
過年度消費税等	—	12,260
その他	288,498	5,211
特別損失合計	2,360,998	49,040
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,831,990	428,574
法人税、住民税及び事業税	65,859	102,361
法人税等調整額	91,266	55,039
法人税等合計	157,126	157,401
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△700	12,980
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,988,417	258,191

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは主としてエンジニアリングプラスチック及びその複合材料による各種製品の製造及び販売を主業としている専門メーカーであり、当該セグメント以外にその開示基準に該当するセグメントはありません。このため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,907,237	871,759	1,118,815	4,897,812	—	4,897,812
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	809,398	1,305	61,923	872,627	(872,627)	—
計	3,716,636	873,064	1,180,739	5,770,440	(872,627)	4,897,812
営業利益又は営業損失(△)	△374,935	13,721	17,573	△343,641	(102,005)	△445,647

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,553,494	927,086	1,498,118	4,978,700	—	4,978,700
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	939,422	1,271	211,201	1,151,894	(1,151,894)	—
計	3,492,917	928,357	1,709,319	6,130,595	(1,151,894)	4,978,700
営業利益	149,073	37,438	295,333	481,845	(72,330)	409,514

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,280,649	2,982,801	4,278,017	17,541,468	—	17,541,468
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,573,035	2,488	110,038	2,685,562	(2,685,562)	—
計	12,853,684	2,985,289	4,388,055	20,227,030	(2,685,562)	17,541,468
営業利益又は営業損失(△)	△672,834	89,648	82,962	△500,223	(239,966)	△740,190

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,135,729	2,279,605	3,585,736	13,001,071	—	13,001,071
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,235,489	2,248	491,294	2,729,033	(2,729,033)	—
計	9,371,219	2,281,854	4,077,031	15,730,104	(2,729,033)	13,001,071
営業利益又は営業損失(△)	△124,221	9,585	416,982	302,346	(217,291)	85,055

(注) 1. 国または地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米：米国

(2) アジア：シンガポール、マレーシア、タイ、韓国、中国、台湾、ベトナム

3. 国内セグメント間の内部売上高は、主として親会社による在外連結子会社に対する成形製品の売上高であります。また、在外における内部売上高は、主として在外連結子会社による親会社に対する成形製品の売上高であります。

4. 会計処理の方法の変更

(前第3四半期連結累計期間に係る注記)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業損失が27,945千円増加しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	708,183	1,254,041	159,044	2,121,269
II 連結売上高（千円）	—	—	—	4,897,812
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.5	25.6	3.2	43.3

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	564,309	1,841,211	178,878	2,584,399
II 連結売上高（千円）	—	—	—	4,978,700
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.3	37.0	3.6	51.9

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	2,540,654	4,602,739	690,365	7,833,760
II 連結売上高（千円）	—	—	—	17,541,468
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.5	26.3	3.9	44.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高（千円）	1,632,430	4,221,783	476,710	6,330,924
II 連結売上高（千円）	—	—	—	13,001,071
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.5	32.5	3.7	48.7

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北 米：米国、カナダ等
- (2) アジア：シンガポール、マレーシア、タイ、韓国、中国、台湾等
- (3) 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。